

7月30日（土）2限目「家族・夫婦関係を考える

—家族システムアプローチの観点から—

担当教員：福祉総合学部 福祉総合学科

橋本 理子 准教授

講義の中心となった「家族システムアプローチ」は家族を一つのシステムとしてみなし、関係の綻びに対して不適切な構造・機能を改善することで問題解決を図ります。問題を抱える個人に注目し対策するのではなく、家族の問題はさまざまな要因が相互的に作用しているという考え方だそうです。

実際の新聞記事や事例に基づいて「家族」について考えるなかで、一つの事実に対してさまざまな視点があることや、視点が異なることで見えてくる内容も異なることも学びました。

普段の生活では家族・夫婦間に限らず多様な関わりの中で生きていますが、一步引いて自分を取り巻く環境全体を眺めてみることも大切かもしれません。

